



# 校長室だより

校長 山崎 聡子

## 3年生 校外学習

5月2日(金)、3年生が校外学習として市役所見学に行きました。天気のいい中、みんなで元気に市役所を目指しました。市役所に着くと、教育長、指導主事が出迎えてくださいました。市長も市役所の正面玄関まで来てくださり、子供たち みんなの夢を叶えるために、大人が支えていくということをお話くださいました。市長の話を一生涯懸命に聴いていた子供たち。周囲の大人が応援して下さるといふ温かなメッセージに、子供たちは安心したのではないかと感じました。

ごまりんも登場し、子供たちは大喜び。ごまりんをなでたり握手したりと、子供たちは笑顔いっぱいでした。市長・教育長・ごまりんとともに思い出となるクラスごとの集合写真を撮りました。その後、2グループに分かれ、市役所内の見学をしました。指導主事が説明しながら案内してくださいました。ごまりんとの触れ合いとは打って変わり、市役所内ではとても静かに見学していました。1階に飾ってある大凧を見学し、連休に上げられる大凧についての話を伺いました。連休に上げる大凧は、飾ってある凧の7倍あることや重さは1000kgあること、2か月かけて大凧を作り上げること等、たくさんのお話を教えていただきました。今年の大凧に書かれている文字は、「華風(はなかせ)」ということで「桜の花が咲く頃に吹く風で、桜の花を散らす風でもあるけれど、コロナを吹き飛ばす風になってほしい」という意味が込められているとの話に、子供たちは真剣に聴き入っていました。議場の見学もしました。議場は

座間市をよりよくするために話合う場であること、座間市民全員が話し合いをすることが大切だけれど、議場には全員が入れないため代表者が話し合うこと、代表者を市議会議員ということ等、多くのことを学ぶことができました。展望台では、東西南北を意識して座間市内の様子を見学をしていました。

子供たちの様子を見ていて感心したのは、話を聴いたり、見て気付いたりしたことについて、進んでメモを取ったり、指導主事や市の方に積極的に質問をしたりしていたことです。メモをするということは、新たな学びや大切だと思えることがあったからであり、質問をするということは、もっと知りたいという気持ちの表れです。自ら動いて学んだことは自分の中にしっかり残るものになります。いい学びをしている、すばらしい姿でした。

市役所を出発する前に、学年主任が、3年生を迎えるにあたって多くの方々が準備をしてくださっていたことに触れ、みんなできちんとお礼を伝えました。道路を渡る際に、車や自転車が止まってくださった時には、先生方が「みんなを待ってくださっているよ。だから急いで渡ろう。」という声かけをしていました。子供たちも、待っている車や自転車の様子を気にしながら、急ぐ様子が見られました。また、帰りに寄ったかにがさわ公園では、大きなすべり台で3年生が遊んでいる中4歳になる男の子が一人いましたが、優しく声をかけ、気遣う姿がありました。

様々な活動を通して子供たちの学びの場となる校外学習。他者の温かな心づかいに気付くとともに、子供のもつ力がきらりと輝くことに繋がる充実した時間となりました。